

Data (2024年2月現在)

所在地 〒411-8787

静岡県三島市大宮町 3-7-33

スタッフ 岩清水伴美 (教授)、

酒井太一 (先任准教授)、

中川陽子 (准教授)、川田梨絵 (助手)

URL <https://www.juntendo.ac.jp/hsn/>

左から中川、岩清水、酒井、川田

順天堂大学保健看護学部

公衆衛生看護領域

History and Now どのような機関なのでしょう？

順天堂の発祥は1838（天保9）年、学祖・佐藤泰然による日本最古の西洋医学塾「和田塾」設立に遡り、建学185年を超えます。看護師養成教育も古く、学是「仁」の精神を基盤に1896（明治29）年から開始しています。

保健看護学部は順天堂大学の4番目の学部として2010（平成22）年に開設しました。教育目的は、保健医療福祉の一翼を担う優れた看護実践力を持つ心温かで、地域の人々のヘルスプロモーションに貢献する国際性豊かな看護職者を養成することです。2024年度から1学年定員160人の増員、保健師課程は選択制になり130人定員となりました。

Education どのような教育をしていますか？

保健師課程のカリキュラムでは「公衆衛生看護方法論Ⅰ」での家庭訪問・健康教育、「公衆衛生看護方法論Ⅱ」での地区診断、「地域健康危機管理論」での避難所運営、「地域ケアシステム論」でのケアシステム構築等の演習に力を入れています。

「公衆衛生看護実習Ⅰ」では、健康水準の向上を目的に保健所・保健センター・産業の場で展開される公衆衛生看護活動の実際と、そこで活躍している保健師の役割について学びます。その中で地区踏査を実施し把握した地域特性とそこで生じている健康課題との関連について学びます。また「公衆衛生看護実習Ⅱ」では、実習グループで市町において行われている保健事業に参加し、家庭訪

問技術や小集団を対象とした健康教育技術を主体的、体験的に学びます。

看護実践力を高めるため、授業と実習を連動させています。

Research どのような研究をしていますか？

教員は、ここに至るまでに培ったさまざまな実務経験を基にした研究テーマと、専門性を持っています。主な研究テーマは、保健師・看護師基礎教育に関する研究、生活習慣病の要因探索、子育て支援に関する研究、乳幼児虐待ハイリスク家庭への支援、保健師の資質向上に関する研究等です。今後も、地域や教育現場の実務に貢献できる研究に取り組んでいきたいと思っています。

Collaboration 保健活動の現場とのつながりは？

看護課程の看護総合実習では実習地の健康課題を提示していただき、地域看護過程を展開しています。学生は地域診断により健康課題を明確にして実習地の方を招き、対策を提案内容として報告しています。また実習地から住民の意見聴取会議に招かれ、実習から学んだ内容を報告する場合もあります。また、学生は大学と実習地と共催の「家族介護教室」等にボランティア参加しています。

教員は、実習地を始め静岡県内の保健師の現任研修や保健活動の事業報告・研究会等に参加しています。保健師の自主勉強会などにも参加し、保健事業の充実強化のための対策・方法等を一緒に考えています。

ひとこと

学部開設15年目になり、実習地である市町・企業等の皆様のご協力により実習を受け入れていただき、多くの保健師を輩出しています。実習地のほとんどに卒業生が就職しており、学生は先輩の活躍を肌で感じ、実習の励みになっています。（岩清水）